

下地別

コンクリート・モルタル下地



4kg入り

準備

○下地の状態を確認。

- ・ひどい粉吹き
- ・表層が剥がれています



壁紙施工は避ける

- ・粉吹き・表層の剥がれは、下地がすでに劣化している。下地で層間剥離を起こしてしまう。

↓
ハガレ・目スキ

下地処理

- ・シーラー
- ・パテ

○シーラー セットアップを 3倍に希釈し 全面に塗布。



- ・容量：4kg入り
- ・標準希釈：3倍
(セットアップ1:2水)
- ・施工可能面積：80~120m²

↓
完全に乾燥。

ピンホールや塗りムラがない事を確認。

○下地の凹凸は仕上用パテで平らにする。

この時、パテボンドか
パラダイン390クリーンを
5%程加えておく。



- ・塗りすぎないように注意。
必要以上に塗りすぎた場合、糊の接着
があまり剥がれてしまう。

- ・合成樹脂エマルションでは後々下
地のアケで剥がれが起きてしまう。

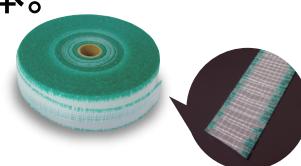
施工

- ・糊付け
- ・ジョイント

○糊はウォールボンド100 かスーパークリーク96α。



○ジョイントは突き付けが基本。 重ね切りの場合、 必ず下敷きテープを使用。



70mm
35mm

○ジョイントには必ず和紙の くいさきテープを入れる。



施工後

○急激な乾燥は避ける。

- ・自安として指で塗膜をさわり、指
にセットアップが付着しなければ
乾燥したと考えて良い。

- ・ボードと異なり、粉末パテだけでは
下地から外れることがある。

- ・合成樹脂エマルションが入って
いないとセットアップの膜には接着
しない。

- ・ビニル壁紙以外の施工時は、壁紙にあつ
た接着剤をウォールボンドシリーズ
から選択する。

- ・セットアップの塗膜を切ってしまう
とそこから目開きを起こす。

- ・下地の条件が悪いため。

- ・突き付けの場合、幅広(70mm)を先に
下地に貼っておくとジョイントが楽に
合わせられる。

- ・目スキの原因。